

津市ボランティアセンターだより

Vol. 6

平成19年2月15日発行
津市ボランティアセンター
津市大門7-15
津市社会福祉協議会内
TEL 059-213-7111
FAX 059-224-6067

ぼらん津



“ぼらん津”は市民のみなさまに身近な情報を発信します。どうぞ、ご活用ください!

津市社協 HP URL: <http://www.tsu-shakyo.or.jp>

2007年車イス体験・ふれあいウォークラリー大会

昨年の実行委員やスタッフのみなさん(会場の香良洲町にて)

実行委員の募集!



新津市になって、津市内10地域の中から会場を選定することとなり、昨年は香良洲町で開催しました。会場となる地域の行政・学校・自治会・地域住民などたくさんの方々の協力をいただいています。

特に、会場の設定から日程、スケジュール、チェックポイントまでのゲーム内容、資材づくりなど、すべてボランティアを主体とする実行委員会で行います。今年も活躍をお願いします。

第1回実行委員会を開催します

【とき】平成19年3月10日(土) 18:00から

【ところ】津市センターパレス 3階 介護実習室

【お問合せ】

〒514-0027

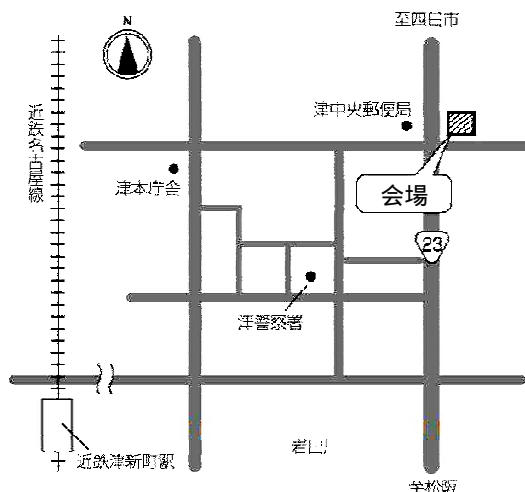
津市大門7-15 津センターパレス3階

津市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL 213-7111 FAX 224-6067

E-mail: chiiki@tsu-shakyo.or.jp

津市社協各支部でも受け付けております。



—地域の情報—

ボランティアセンター美杉からのお知らせ

はじめよう、お食事会ボランティア！

美杉地区社協が行う「いきいき集会」事業は、地域の高齢者を招いて昼食会を行うボランティアさんへの助成協力事業です。弁当箱の貸し出しやレクリエーション方法の相談なども行います。

「食事会ボランティアを始めてみよう！」という方、下記へお電話ください！



<お問い合わせ>
ボランティアセンター美杉
電話 274-0023

ボランティアセンター安濃からのお知らせ

いっしょに花を植えませんか！

ボランティアグループ「ひまわり会」では、地域の環境美化活動として、会が管理している花壇、及びプランターの土壌づくり、花づくり、草取り、等の作業をしています。また、花壇づくりのポイントや花の栽培とデザインの研修も開催しています。「花作りしてみたい！」という方、お気軽にお問い合わせください。



<お問い合わせ>
ボランティアセンター安濃
電話 268-5804

ボランティアセンター河芸からのお知らせ

ボランティアメンバー募集！！

転倒予防体操にお手伝いいただけませんか？

高齢化社会となりましたが、認知症や寝たきりにならないため、脳の活性化と体を動かして、健康で長生きしようではありませんか。

少し考えながら、簡単な体操を、おしゃべりと笑いのなかで楽しくやっております。

次のとおり実施しておりますので、どなたでも来て下さい。

毎週木曜日 19:30～20:30 津市千里ヶ丘公民館
毎週金曜日 10:00～11:00 津市河芸保健センター
主催 河芸町健康推進委員会

<問い合わせ> ボランティアセンター河芸
電話 245-8888

ボランティアセンター芸濃からのお知らせ！

ボランティアグループ『麦の会』では、

毎月 第1・第3水曜日、第2・第4木曜日に、むくの木ワーク（知的障害者通所授産施設）の厨房でパン作りをし、販売をしています。

お問い合わせ

ボランティアセンター芸濃
電話 265-4531



ボランティアセンター白山からのお知らせ

ボランティアメンバー募集！

ふれあいいきいきサロンへ遊びに来てね！！

白山地区社会福祉協議会では、毎月ふれあいいきいきサロンを開いています。みんなでおしゃべりやレクリエーションを一緒に楽しみましょう！



お待ちしております！

お問い合わせ
ボランティアセンター白山
電話 262-7029

ボランティアセンター美里からのお知らせ

マジックを覚えてみませんか！？

マジックを覚えて、新しい自分を発見してみませんか。美里マジック同好会では、会員を募集しています。マジックに興味がある人、周りの人を楽しませながら自分も楽しみたい人などお気軽にご連絡ください。

活動日 毎月第1水曜日（練習日）

活動場所 高宮公民館
（津市美里町足坂）

活動実績

- ・福祉施設での公演
- ・文化祭など地域イベントでの公演



<お問い合わせ> ボランティアセンター美里
電話 279-3366

ボランティアセンター津からのお知らせ

ボランティアセンター津にはさまざまな内容のサークルが約90団体登録しています。どのようなものかちょっと挙げてみますと…

視覚障害の分野としては外出介助をするガイドヘルパーの会や広報を録音テープ化するサークル、資料や図書を点訳する会などがあります。

聴覚障害の分野では「手話通訳」や「要約筆記」のサークルがありますし、また、難聴の方を対象に当時者が集まるサロンを作り難聴者の社会参加を高める運動をしているサークルもあります。

肢体障害の分野では在宅障がい者の自立支援や機能訓練の補助といったものが活発です。自らボランティアをコーディネートする会、高齢者の心身の健康向上を目指す会もあります。

児童や障がい児の分野では「施設での読み聞かせ活動」「点字絵本の制作」「弱視の児童向けの拡

大写本の教科書作成」といった活動をするサークルや、食物アレルギーの子どもの親の会といったものもあります。

その他にも「障害児・者の親の会」「施設・病院で施設内の案内や簡単な介助」「高齢者の話し相手」「地域の活性化・助け合い運動」「清掃奉仕」「切手やベルマークの整理・集計」「母子世帯への支援や相談」「演芸などを披露しての施設慰問」といった内容など、まだまだ紹介し切れませんが、実に多様なサークルが登録されていますので、関心をお持ちの方は…

気軽にお問合せください。

<お問い合わせ> ボランティアセンター津
213-7111

ボランティアセンター久居からのお知らせ

点字絵本を作りませんか！

ボランティアグループ「虹の会」では点字の絵本を作成し、一志「ジャンボの会」さんを通してアフリカの小学校へ送られています。

色鉛筆を使ってぬりえ感覚で色彩する、自宅で余暇を生かしてできる制作です。一緒に始めてみませんか。

活動日：毎月第三水曜日（午前）

活動場所：津市久居総合福祉会館 2階

<お問い合わせ>

ボランティアセンター久居

電話 256-1202



ボランティアセンター香良洲からのお知らせ

食事サービス調理ボランティアさん募集！

香良洲地区社会福祉協議会では香良洲町在住の75歳以上の一人暮らしの高齢者及び80歳以上の高齢者世帯等を対象に毎月3回の「まごころ弁当」の配食サービスを実施しています。

調理担当のボランティアグループさんの紹介
さより(婦人会が母体)、にんじんクラブ(食改が母体)、さつきの会(一般)

上記のいずれかのグループに所属していただき、調理のお手伝いをしていただける方を募集しています。

<お問い合わせ>

ボランティアセンター香良洲

電話 292-7711



ボランティアセンター一志からのお知らせ 「おもちゃ図書館コアラ」って？

ボランティアグループ「子育て支援コアラの会」は「おもちゃ図書館コアラ」を運営しています。障がいのある子もいない子も、おもちゃや友だちと一緒に遊び、楽しい時間を過ごしましょう！

平成18年度

開館日 2月3日・3月3日(土)

午後1時30分～3時30分

場所 津市とことめの里一志

一志保健センター内



<お問い合わせ> ボランティアセンター一志
電話 295-0066

情報発信

しませんか？

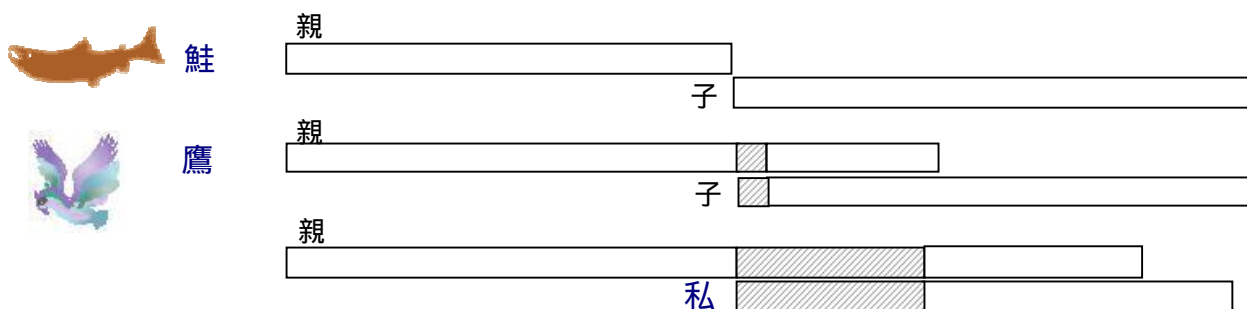
ぼらん津の「地域の情報」の欄から、情報発信してみませんか？

ボランティアグループのメンバー募集、イベント開催のお知らせやボランティアの募集など、様々な内容を掲載させていただくことができます。

みなさんがつくるボランティア情報欄です。たくさんの情報をお寄せください！

詳しくは、お近くのボランティアセンター(津市社会福祉協議会各支部)にお問い合わせください。

鮭と鷹と私の相違点？



私の親は、私がなぜ泣くのか原因を探し、それに応えていくということで、根性と忍耐と辛抱を身につけていきました。「ああすると、こうなる」ではなく「ああしても、こうならない」という悪戦苦闘の日々の中で。ありがたいことです。

しかも、親は今でも私を心配しているようで、これもまた、ありがたいことです。

子育てと里山ボランティアとの共通点？

里山保全のボランティアさんは、草刈や間伐など自分の都合など考えてはおれません。やらないといけない作業は、嫌でもやってくるわけで、子育ても同じく、子どもの都合で自分が行動しなくちゃいけないのです。

そう、子育てと里山ボランティアとの共通点は、こちらの都合などおかまいなしにやってくることに、相手を思う気持ちで応えているのだと思うのです。

阪神淡路大震災へ行ったボランティアとグループの代表になった人との共通点？

あの阪神淡路大震災が起こったとき、あちこちに火の手があがり、千人、二千人と死者が増えていくテレビの映像を見て、「ああ行かなくちゃ」「私が行かなくては」という思いが心に湧いてきたと思います。その思いに応えてリュックを担いで現場へ行ったと思うのです。

グループの代表を決めたり、何かの役を決めたりするときも、「この状況じゃこれは私が引き受けなくちゃならないな」「この会がうまくいくために、これはやむを得ないな」と思い、引き受ける場合が起こってきます。

そう、阪神淡路大震災へ行ったボランティアと、やむを得ずグループの代表になった人の共通点は、心に湧いた「おもい」に応えたのだと思います。

ボランティアの性格に自発性とか、主体性とかいいますが、やむを得ず相手に対してどうしても応えていかななくてはならない場合もあります。

しかし、「やむを得ないな」という、その「おもい」に応じられたら、ほんとうに素晴らしい人間関係（環境や自然に対しても）が広く深く築けると思うのです。